

総合的な学習の時間（まつのやまタイム）全体計画

＜まつのやま学園教育目標＞
生き生きとした子ども

＜子どもの実態＞
・素直で思いやりの気持ちをもっている子どもが多く、何事にもまじめに取り組むことができる。
・多様な体験や人間関係づくりの機会を設定することで、人前で物怖じせずに活動できることが増えてきた。

＜保護者の願い＞
・楽しく元気に学校生活を送ってほしい。
・学力や体力をしっかりとつけてほしい。
・ふるさとに誇りをもち、将来もふるさとを忘れずに生活してほしい。

＜めざす子ども像＞
ふるさと松之山を愛し、豊かな関わり合いの中で、自分に自信をもって成長する子ども
～ふるさと松之山に夢と誇りを～

＜総合的な学習の時間 目標＞
探究的な見方・考え方を働かせて、松之山の伝統文化に学ぶ「ふるさと学習」、社会人から直接学ぶ「生き方学習」を推進し、ふるさとを愛し、地域社会に貢献できる人を育てるため以下の資質・能力を育成する。
(1)地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。
(2)地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、よりよく課題を解決し、考えたことをまとめ、表現する力を身に付ける。
(3)地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、学びに向かう力、人間性等を育てる。

＜地域の実態＞
・保護者や地域の人は、教育活動に積極的に参加するなど、関心が高く協力的である。
・各地区のまとまりがあり、地域行事や伝統行事が活発である。
・山間・多雪地帯で、少子高齢化が進んでいる。

＜地域の願い＞
・のびのびと元気に学習してほしい。
・松之山を誇りに思い、好きになってほしい。
・地域の担い手になってほしい。



育てたい資質・能力

| | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
|--------|---------------|---|--|
| 3・4年 | ・各学年の単元計画による。 | ・対象との体験的な関わりを通して、課題に気付く。 ・解決の見通しをもち、計画を立てる。 ・相手や目的に応じて、表現する。 | ・自分の行為について、意思決定する。 ・目標を設定して、課題の解決に向けて行動する。 ・異なる意見や他者の考えがあることを認める。 ・自分と地域とのつながりに気付き、地域と進んで関わる。 |
| 5・6・7年 | ・各学年の単元計画による。 | ・対象と積極的に関わる中で、課題を設定する。 ・解決の方法や手順を考えて、計画を立てる。 ・相手や目的に応じて、効果的に表現する。 | ・自らの生活の在り方を見直し、よりよい在り方を考えて実践する。 ・自己の成長を振り返り、これからの自分を見つめ、自己を高めようとする。 |
| 8・9年 | ・各学年の単元計画による。 | ・複雑な問題状況を踏まえて適切な課題を設定する。 ・収集した情報を多角的に分析し、事象を比較したり、因果関係を推測したりして自分の考えをもつ。 ・相手や目的、意図に応じて、論理的に表現する。 | ・自己の目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する。 ・自己の将来を考え、夢や希望をもつ。 ・異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。 ・当事者意識をもって地域の活動に参画する。 |

まつのやまタイム～松之山に学ぶ・松之山を知る・松之山を発信する～

| 学年 | 3年 暮らし | 4年 暮らし | 5年 農業 | 6年 文化・伝統 | 7年 人 | 8年 職業 | 9年 国際 |
|------|---------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|---------------------------------|--|
| 探究課題 | 「松之山のみ力」 | 「松之山の暮らし」 | 「米作りと里山の暮らし」 | 「松之山の文化・伝統」 | 「今を守り育てる松之山」 | 「はたらくということ」 | 「私たちが歩んでいく社会」 |
| 学習活動 | 自然散策やものづくりを通して、松之山の良さに気付き、発信する。 | 松之山の人々の暮らしの移り変わりを調べ、地図にまとめる。 | 米作りを体験しながら、米作りを支える人々の努力や里山の環境について学ぶ。 | 松之山の文化や伝統について調べ、今に生かそうとする。 | 地元の文化や自然を守り、それらを生業にしている人々の生き方に触れる。 | 様々な人との関わりから、「はたらく」ことの意味や意義を見出す。 | 日本や世界の人・地域・文化の学びから、世界・全国とのつながりと、松之山や自分の未来を考える。 |

| ＜指導方法＞ | ＜指導体制＞ |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の探究的な学習のサイクル（課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現） 個の追究と協働的な学びのバランス 体験と思考をつなぐ書く活動 | <ul style="list-style-type: none"> 情報の収集と活用 まつのやまタイム推進委員会を中心とした地域人材の活用 各教育期職員による支援体制 |
| ＜地域との連携＞ | ＜小中一貫校の特色＞ |
| <ul style="list-style-type: none"> 地域の方々とのカリキュラム作成と年間を通じたとの協働活動 地域の方々を講師に招いての授業 地域行事の積極的な参加 地域施設の積極的な活用 | <ul style="list-style-type: none"> 9年間の見通しのある連続的かつ発展的な学習活動 授業や各種行事、部活動、清掃等の日常的な小・中の交流活動 小中教職員による定期的な校内研修 |